

I. 業績概要

平成26年度中間決算のポイント

< 預貸金 >

預金+NCDは**7兆円**を突破、貸出金についてもリテールを中心に拡大

- ・預金+NCD残高 7兆 466億円 (前年同期比 +1,860億円)
- ・貸出金残高 4兆2,421億円 (前年同期比 + 882億円)

< 収 益 >

連結中間純利益は、中間決算では**過去最高**を更新

- ・中間純利益(単体) 122億円 (前年同期比 +19億円)
- ・連結中間純利益 127億円 (前年同期比 +19億円)

< 配 当 >

中間・期末配当ともに当初公表から1株につき**50銭増配**の6円、
年間配当金は12円を予定

2. 平成26年度中間決算概要

(単位:億円)

	25年度 中間	26年度 中間	前年同期比
業務粗利益	423	442	19
資金利益	355	371	16
役務取引等利益	40	46	6
その他業務利益	27	24	△3
うち国債等債券損益	18	21	3
経費	290	300	10
業務純益	132	142	10
コア業務純益	113	120	7
臨時損益	30	36	6
うち不良債権処理額 (A)	1	1	0
うち貸倒引当金戻入益 (B)	18	7	△11
うち株式等関係損益	0	15	15
経常利益	163	178	15
特別損益	△1	△1	0
中間純利益	103	122	19
信用コスト (A)－(B)	△16	△5	11
<参考>			
連結中間純利益	108	127	19

業務粗利益

市場部門の機動的な運用により資金利益が増加したほか、役務取引等利益も増加し、前年同期比＋19億円の増益。

経常利益

信用コストの戻入益は縮小したが、株式関係損益が増加し、前年同期比＋15億円の増益。

中間純利益

中間純利益は、前年同期比＋19億円の122億円。

連結中間純利益は、中間決算では、過去最高の127億円を計上。

3. 平成26年度決算見通し

(単位:億円)

	25年度	26年度 (予想)	前年度比
業務粗利益	814	831	17
資金利益	701	719	18
役務取引等利益	79	85	6
その他業務利益	33	27	△6
うち国債等債券損益	21	22	1
経費	573	585	12
業務純益	240	246	6
コア業務純益	219	224	5
臨時損益	23	56	33
うち不良債権処理額 (A)	1	3	2
うち貸倒引当金戻入益 (B)	2	3	1
うち株式等関係損益	1	34	33
経常利益	264	302	38
当期純利益	160	180	20
信用コスト (A)－(B)	△1	0	1
<参考>			
連結当期純利益	167	189	22

業務粗利益

前年度比増益

<資金利益>

貸出金利回は、引き続き低下を想定するが、有価証券利回は改善。

(P25参照)

<役務取引等利益>

預かり資産販売強化による増加を目指す。

経費

前年度の大型投資の影響により増加。

(P27参照)

信用コスト

信用コストは引き続き低位安定を想定。

(P30参照)

4. 配当について

<配当政策>	(当初予定)		(今回修正)	
中間配当	5円50銭	→	6円	+50銭増配
期末配当(予定)	5円50銭	→	6円	+50銭増配
年間配当	11円	→	12円	+1円増配
<配当方針>	安定配当を基本としつつ、当期純利益に対する配当性向25%を目安とする			

